

## 教育長

### ■学校教育関連

①小中学校児童生徒に対する心身のケア

1月27日午後3時頃、倶知安町内の住宅で発生した火災・事件により、痛ましい出来事が発生した。

児童生徒への対応としては、事故後直ちに両校と協議し、北海道教育委員会、北海道警察の協力を得ながら専門のカウンセラーを派遣してもらい、小学校では登下校時の不安を解消するため、一斉下校の実施と職員による見守り活動、また中学校では担任が家族と連絡を取りながら、連日家庭訪問を行い、本人ばかりでなく家族の声にも耳を傾けるなど不安の解消に努めている。

ら、心身、特に心のケアを行っていくが、教育委員会としても学校や道教委、町福祉課などとも連携し、さまざまな観点から支援を行っていく。

②中体連全国スキー大会への出場

本町の小中学生においては、年間を通して各種体育活動で優秀な成績を残している。スキーシーズンを迎え、1月には中体連アルペン、クロスカントリースキーの全道大会が行われ、アルペンでは東陵中学校2年生の女子1名が、クロスカントリースキーでは倶知安中学校男子3名が全国大会出場を決めた。2月に富山県で開催された全国大会では、開催期間中に雨が降るといったあいにくのコンディションの中、4選手とも全力で競技に臨み、惜しくも入賞はならなかったが、記録では上位選手とわずかの差というりっぱな成績を残してくれた。



中体連全国スキー大会に出場した選手たち

日頃より熱心にご指導

いただいた指導者の皆さまに感謝するとともに、「スキーの町くつちゃん」の代表として健闘された選手の皆さんには、今後益々の活躍を期待し

### ■社会教育関連

①公民館活動事業

小・中学生書き初め大

## □主な質疑・答弁

Q 悲しい事故に関し、教職員が家庭訪問しながら家庭状況を確認する、未然に防ぐためには家庭状況を早く学校サイドで察知し、関係機関と連携していくことが必要、見解を伺う。

A 一般論として、家庭の諸事情を察知するには個人情報等の絡みがある。担任がその子の状況を踏まえ、各家庭状況を確認する中で、もしも子どもが心の訴えを担任に吐露する場合においては、担任から学校全体で情報交換し対応する。

この他に、町内の小中学校における感染性胃腸炎等の集団発生、新設倶知安中学校の開校、学校給食センターの移転改築事業、事故報告についての行政報告がありました。

倒壊が心配される空き家

## 一般質問

# 〔除雪対策・厚生病〕



竹内隆議員

厚生病院  
の法定の  
定員がど  
のように  
配置されて  
いるのか。

そして現在、厚生病院に配置されている常勤の勤務医と出張医の割合は、

### 福島町長

これまで町では、財政的な支援のほかに、病院が独自に開催している公開講座開催の広報折り込みや住民検診後の講演などの支援を行っている。

また、町づくり懇談会では、院長先生みずから医療機能や検診など病院の取り組みを紹介してもらっている。

今後も町として、町民の方々に安心感と親しみをもって身近に感じてもらうための活動を強化していく。

二次医療機関としての俱知安厚生病院と一次医療を担当する喜茂別の診療所とは単純に比較することは困難だ。

相違点を考慮し、分析するとともに、喜茂別の診療所の今後の運営を注意深く見ていきたい。

法定の必要医師数は22・2名で、現在の勤務医師は22名である。ただ、診療科に隔たりがあることが問題と考える。医師の確保については、病院側では地域医療振興協会に医師派遣要請をしており、町としても協力をしている。



俱知安厚生病院

### 除雪対策



樋口敏昭議員

豪雪地の本町での生活で悩ましい問題が、除雪車の置いていく固い雪の塊である。

固い雪の処理は、私たちでも大変なのにあつて、高齢者や障がいを持った方々だと相当困難な状況

になると思われる。高齢者や障がい者宅前に雪を置いて行かないような手立てはできないのか。

### 笠原啓仁議員

高齢者や障がい者世帯など、雪弱者に対する本腰を入れた対策が求められる。

町による除雪対策の不足を町民ボランティアが補うか、あるいはボランティアが主軸となつてその不足を町が補うのか、町長の見解を伺う。

### 福島町長

豪雪地帯である本町の朝除雪作業は、10センチ以上の降雪を目安に、交通量の少ない深夜明けから通勤・通学時間までに行うため、限られた時間の限られた除雪機械・人手・予算で実施することから、



除雪風景（町民ボランティア）

道路に積もった雪を左右に分ける除雪しかできず、玄関前に置かれた雪は各家庭で雪処理をお願いしているのが実態である。そのため、高齢者・障がい者宅の玄関前の除雪作業、自力で困難な家庭には除雪ヘルパーを派遣し、日常生活に支障がないよう努力している。今後、除雪ヘルパー作業員を増やしたり、地域住民と連携したボランティア組織をつくるなど、協力体制の仕組み、強化をしていきたい。

教育委員会では、全ての教育活動において、学ぶ喜びなどを体感させることができるよう地域の教育力を生かし、教育の実践に取り組んでいく。



## 伊達 隆 議員 … 2 件の一般質問

### 森林経営計画制度の開始に向けた準備を

町長：多目的機能を認識し、適正に進めていく

**伊達**

国内の林業・木材産業は、輸入木材等により低迷している。

植林から保育伐採と、

利用期までに30年・50年と長い時間と多額の経費が必要である。

長期的な視野に立った町有林・私有林等の森林経営計画制度の開始に向けた準備は。

**町長**

平成21年12月に農林水産省は、森林林業再生プランを策定し、国内における10年後の木材需給率を50%以上とする目標を掲げた。

木材の安定的供給体制を確立し、雇用の拡大を図り、木材利用を通じた低炭素社会の構築を図ることを目的としたものだ。

平成24

年4月の

森林法改

正により、

水源涵養

保全林、

山地災害

防止林、

保護・文

化機能等

維持林、



森林伐採作業

生活環境保全林、木材等生産林と地域住民にもかかりやすい区分制度に変更された。

以前の森林施業計画では、施業箇所がばらばらのため、作業効率が非常に悪く、経営効率の悪化を招く結果となつてしまった。

新たな森林経営計画は、森林組合等が一定規模の面積を形成する森林について今後、5力年に行う予定の伐採や間伐・造林・保育などに関する計画を立てる制度である。

現在町内において、森林経営委託契約締結の実施作業を行っているが、森林の多目的機能などの認識をして、適正に進めていく。

有害鳥獣駆除業務へのさらなる助成を

**伊達**

駆除については、

猟友会俱知安支部に委託されているが、会

員の皆さまは、自分の仕事の傍ら出勤しており、

人数も少なく、高齢化が進み、負担が大きくなつ

ていると聞く。

免許更新手数料、火

薬代助成、委託料金の支

払いについて伺う。

**町長**

北海道猟友会は昭和42年

に設立され、

道内に70支部

と各市町村に

約230の部

会がある。

目的は、狩

猟道德の向上、

野生鳥獣の保

護・増殖、そ

れから狩猟等

を通してエゾ

シカやヒグマ

保護管理計画

に基づく固定

数調整及び市

町村や農林水

産業から要請



猟友会の活動

があつた有害鳥獣駆除事業等多くの社会貢献を行っている。

俱知安支部の現況は、

平成8年には22名の会員であつたが、現在では11

名で活動され、高齢化等による脱退者が多く、部

会の体制維持を図ることに非常に苦労されている。

活動内容としては、俱

知安町から委託されてい

る地域の生活環境及び農

林業被害対策のための有

害鳥獣駆除を主体に活動

されている。

業務委託料としては、平成23年度は93万6000円で、実績に応じた委託金の支払いをしている。

狩猟免許等の新規取得時には、銃の購入も含めて30万円以上の負担があ

り、猟友免許の更新や銃・弾薬等の維持経費負担が大きいことも会員減

少の一因だと聞いている。

免許更新手数料、弾

薬等の助成については、

十分調査し今後検討して

いく。